Environmental Management Report

私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です
エコアクション21
認証番号 0011543

山王テック株式会社　エコアクション２１

環境経営レポート

４４期

（対象期間：２０２４年4月1日～２０２５年3月３１日）

植樹400年を迎える”日光杉並木街道”

SDGs TOCHIGI
とちぎSDGs推進企業 登録マーク

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SANNO TEC

埼　玉　県
ONE TEAM SAITAMA
SDGsパートナー

発行日　２０２５年7月1日

目　次

➢環境経営方針 …… 2

➢会社概要 …… 3～7

➢実施体制 …… 8

➢中長期環境経営目標 …… 9

➢環境経営活動計画 …… 10

➢削減目標値と取り組み結果 …… 11～14

➢環境への負荷状況(取りまとめ) …… 15

➢次年度の取り組み(環境経営目標値及び取組計画) …… 16

➢環境関連法規等の遵守状況 …… 17

➢SDGs取り組み紹介 …… 18～22

➢環境活動キャンペーン(44期) …… 23

➢新規環境活動 …… 24

➢トピックス …… 25

➢代表者による全体評価と見直し・指示 …… 26

環境経営方針

環境経営方針

基本理念

山王テック株式会社は、地球環境の保全を経営課題と位置付け豊かな未来づくりに貢献するため、事業活動並びに従業員の行動を通じて、社会の持続的発展に努めます。

基本方針

資源やエネルギーを効率的に使う事を推進し、環境負荷の軽減を図ります。

1）環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取り組みます。

① 二酸化炭素排出量削減のため使用電力の削減、使用化石燃料の削減、廃棄物排出量の削減、並びに節水に努めます。

② 事業活動で発生する廃棄物を抑制し、再利用の向上に努めます。

③ 環境負荷低減に配慮した車両の購入に努めます。

2）モビリティ開発支援、知的財産管理、アフターサービスの推進に広く関わる事業を営む、モビリティ業界の一員として環境法規等の遵守はもとより、環境意識の高い人材の育成を推進します。

3）環境経営に於ける『課題とチャンス』を踏まえ、持続的発展に繋げる活動を推進します。

4）地域との共生、社会貢献活動への協力に努めます。

制定日　2016年 4月 1日
改定日　2021年 4月 1日
発行日　2022年 4月 1日

山王テック株式会社
代表取締役社長　吉岡 勇

会社概要

■名　称　　山王テック株式会社

■代表者名　　代表取締役社長　吉岡　勇

■設立　　1981年9月21日

■資本金　　4,000万円

■売上高　　49億4千万円

■従業員数　　596名（2025年3月31日現在）

■URL　　www.sannotec.co.jp

■対象範囲と対象取組期間

〔認証・登録事業者名〕　山王テック株式会社
〔認証・登録番号〕　0011543
〔認証・登録年月日〕　2016年12月2日
〔対象事業所〕　全事業所（本社・東日本事業所・鈴鹿オフィス）

■環境管理責任者　　技術支援2部支援1課　課長　諏訪　啓道

■エコアクション21事務局

〔本　　社〕企画管理部総務課　主査　谷　洋祐
〔東日本事業所〕企画管理部総務課　係長　宇井　裕一
〔鈴鹿オフィス〕開発2部Suzuka開発課　課長　因幡　重徳

■事業規模（2025年3月末現在）

項目	単位	本社地区		東日本事業所地区		鈴鹿オフィス地区		全社
		社内勤務者	客先勤務者	社内勤務者	客先勤務者	社内勤務者	客先勤務者	
従業員	人	39	118	61	364	1	13	596
対象人数	人	39	49	61	38	1	0	188
延べ床面積	㎡	1253.17	―	2671.76	―	83.61	―	4008.54

＊対象人数は、ISO14001認証登録組織のお客様先での常駐勤務者を除いた従業員の人数です。

会社概要

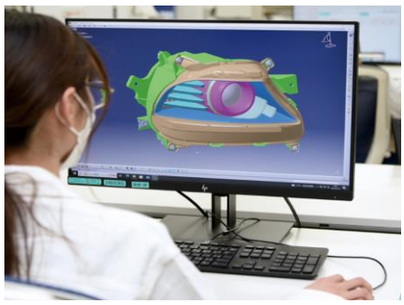
■主な事業内容

設計/解析/モデリング、技術資料編集/制作、特許/知的財産管理、翻訳/通訳、
情報システム、データファイリング、人材派遣

開発設計

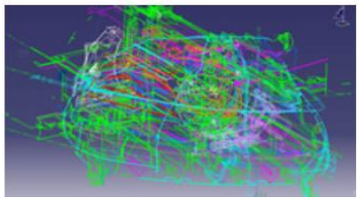
自動車関連の設計支援

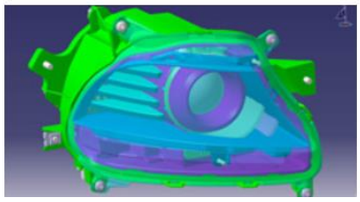
自動車のエンジン ／ ミッション ／ シャーシ ／ 電装
／ ボディ ／ インテリア ／ エクステリアなどの設計
技術を提供する自動車開発支援

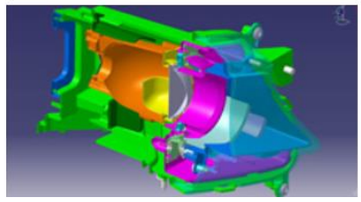


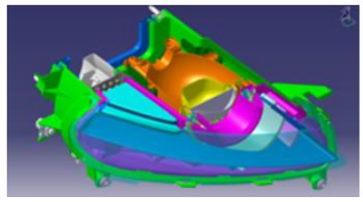
受託設計

自動車部品から自動車用品、住宅照明にいたるまで、多様な分野に対応。
自動車開発支援にて倍った設計技術を駆使し、品質の良い図面（CATIAデータ）を提供致します。



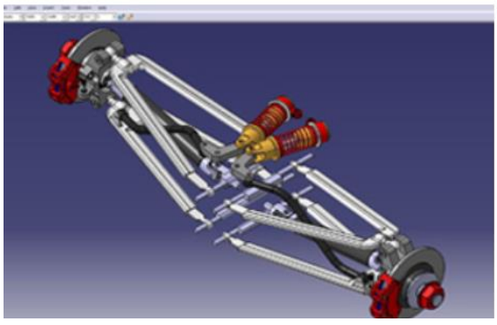


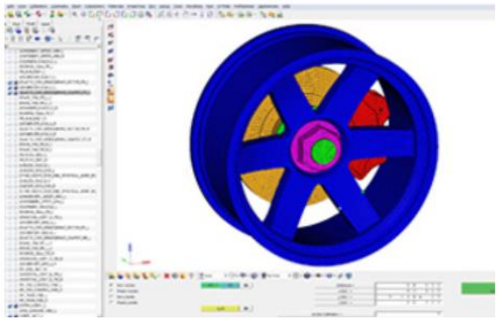


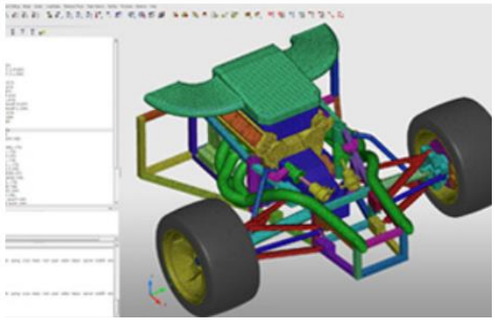


CAE技術・3次元モデリング

- 車体強度・衝突安全などのCAE解析による自動車開発支援
- 金型データ作成による自動車開発支援







受託支援

- 3次元データの加工・処理による開発支援
- 解析用データ作成による開発支援

会社概要

翻訳・通訳

技術翻訳

内容に即した専門用語や表現を使用し、読み手に合わせた翻訳をご提供致します。

技術翻訳の特徴

- 経験豊富なスタッフにより、単なる"言語の変換"ではなく、読み手の立場に立った"生きた文章、わかりやすい文章"をクリエイト致します。
- お客さま別、分野別に独自の専門用語集を作成し、用語・表記を統一。質の高い翻訳をご提供致します。
- お客さまのご要望に応じて社内他部門（データファイリング、データ編集、システム開発、特許調査、設計等）の豊富な経験・高度な技術力を最大限に活用し、翻訳のみならず、さらなる付加価値をご提供致します。

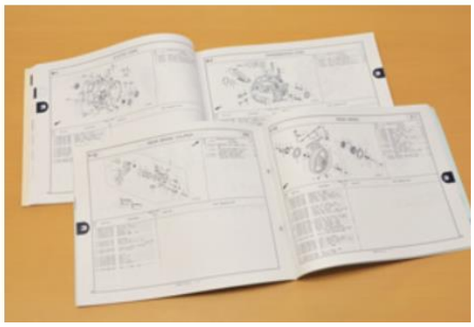
技術資料作成　テクニカルイラスト

オートメーション化の先にあるもの

人間が目指したオートメーションの世界は、これまで強いられた各種の労働を削減し、私たちの暮らしを豊かにしました。しかしオートメーション化をしても依然残る核となるもの、それが私たちの目指す知識と技能です。時にはその知識や技能を活かし、更なるオートメーション化を進めることもありますが、経験となって蓄積こそすれ、なくなることは決してありません。

技術資料とは

ここでいう技術資料とはオーナーズマニュアル、サービスマニュアル、パーツカタログなどの総称です。オーナーズマニュアルはユーザーに取扱い方法を、サービスマニュアルはサービスマンに整備手順を説明するものです。またパーツカタログは部品の受発注に使用されます。
それぞれの資料特性に合わせて、企画から納品までそれぞれ専門のスタッフが業務を行っております。
技術資料の作成には4輪車や2輪車の整備知識・実務経験がとても有効です。弊社でも元整備士達がこれまでの経験を日々の業務に活かしています。



アナログからデジタルへ - それでも変わらぬモノ -

現在はテレビですらアナログからデジタルへの移行が進む時代。テクニカルイラストレーションの分野も例外ではありません。
ロットリングを握った手書きからIllustratorやCADを使用したデジタル化が進んでいます。弊社テクニカルイラスト部門でもその流れを踏襲する形で、必要とされる新たな技術／TOOLを吸収・駆使し日々の業務に取り組んでおります。
しかし、それら技術／TOOLがいかに変化しようとも「変わらないモノ」。それは私たちがイラストに傾ける情熱と、図面や取材から的確に完成予想図を作成する熟練の技です。

会社概要

特許調査

■ **先行技術調査**	出願前や審査請求前に、出願内容に類似する先行技術の有無を確認する調査です。
■ **侵害調査**	開発した製品を製造、販売するにあたり障害となる特許の有無を確認する調査です。
■ **テーマ調査**	技術研究、製品開発等に際し、特定の技術テーマに関連する特許を収集する調査です。
■ **無効資料調査**	製品を開発、製造、販売する際に障害となる特許を無効にするための調査です。
■ **経過情報調査**	特定の出願に対し、出願以降の経過と現在の状況（審査、審判、年金 等）を調査致します。
■ **パテントファミリー調査**	各国の特許出願番号より、対応特許がどの国で公開又は登録されているかを調査致します。
■ **名義指定調査**	特定の会社や個人が出願している特許を調査致します。
■ **ウォッチング調査**	特定の技術や競合他社の特許情報を継続的に調査致します。

1. お客様との打合せ

調査目的・調査対象技術・抽出ポイントの把握、及び納期ご予算の確認。

2. 調査方法の検討

打合わせ内容に基づき、
・特許分類/キーワード
・調査対象国/調査期間
・調査ツール
等を予備検索を実施しながら設定。

3. お見積書提出

ご予算にマッチするようにお見積りを作成します。
※状況に応じて複数のパターンにてご提案致します。

4. 調査

経験豊富なサーチャーが効率よくスクリーニングします。必要に応じて、全文チェックも致します。

5. 中間報告

必要に応じて中間報告を致します。

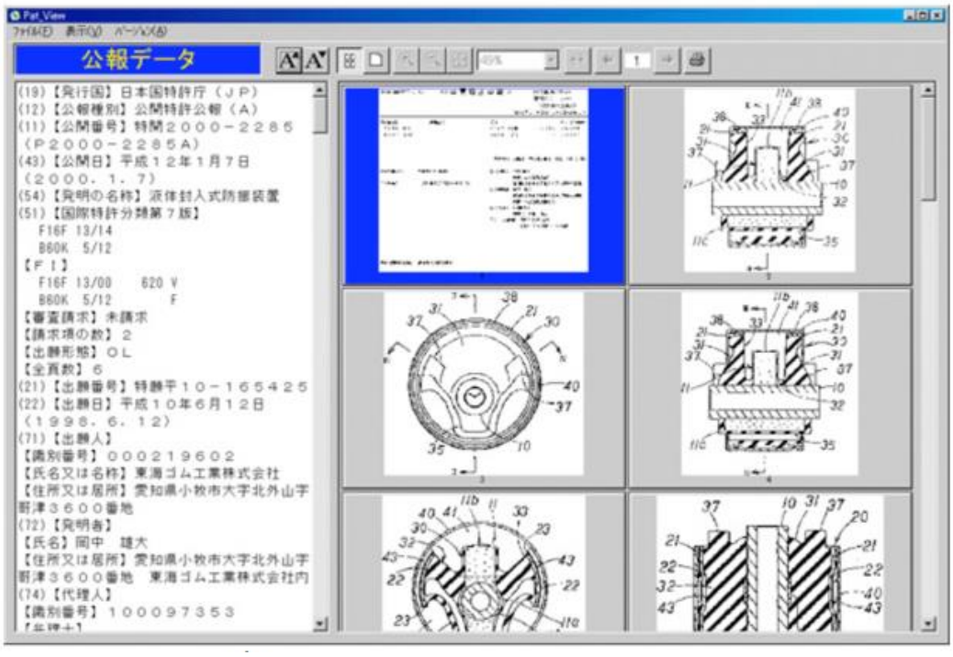
6. 調査結果報告

シンプル且つ要点を明確にした報告書を作成致します。また、ご希望の納品形態（紙・電子データ等）にて納品致します。

特許解析・動向分析

特許・技術文献などの技術内容解析・分類付与・抄録作製

※解析・分類結果に対し、ご要望に応じて、データベース化することも可能です。

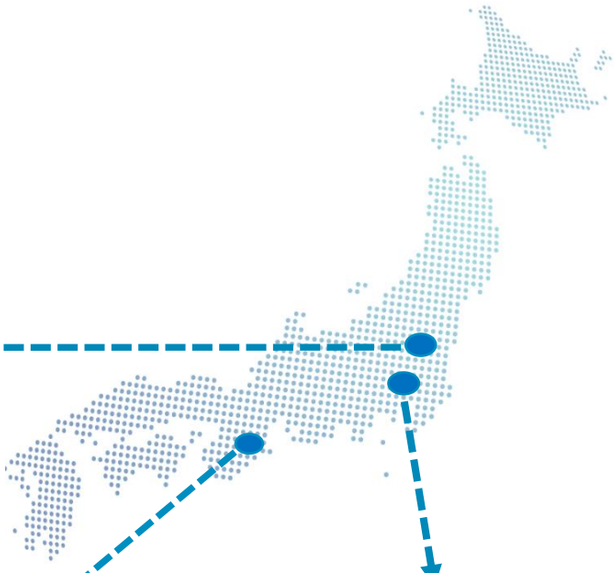


会社概要

■所在地

東日本事業所

〒321-3325
栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台112－3
【TEL】028－677－3337（代）
【FAX】028－677－3335



鈴鹿オフィス

〒513-0806
三重県鈴鹿市算所3－9－38豊永ビル１A
【TEL】059－389－5062
【FAX】059－389－5063

本社

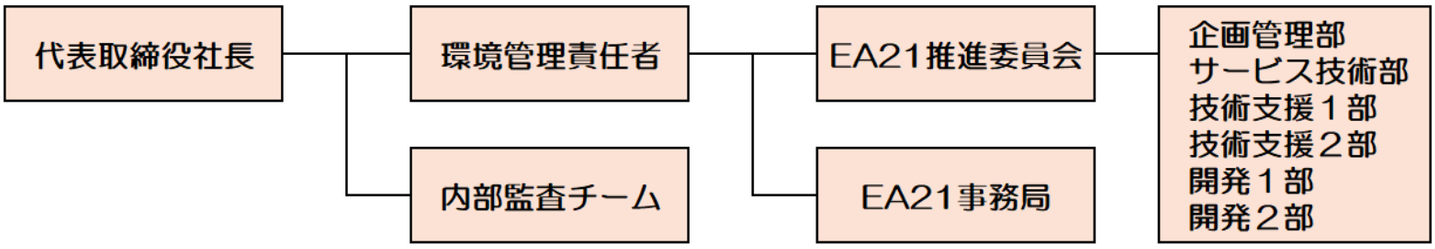
〒351-0113
埼玉県和光市中央2－3－7
【TEL】048－466－1081（代）
【FAX】048－466－7711

■沿革

1981年　9月	山王商事株式会社マイクロフィル営業部を分離独立し、 山王情報産業株式会社を設立
1986年 11月	特定派遣事業開始
1989年　1月	山王商事株式会社特許部門を吸収、設計技術者派遣開始
1989年　9月	山王テック株式会社に社名変更、資本金4，000万円に増資
1990年　4月	栃木営業所を開設(現　東日本事業所)
1994年　9月	山王テック株式会社本社、現住所(埼玉県和光市中央2－3－7)に新築移転
2004年　9月	DPM業務受託開始
2007年　4月	坂本信一社長就任
2013年 12月	東日本事業所　鈴鹿オフィス開設
2014年　9月	東日本事業所　新社屋竣工
2016年 12月	環境経営システムエコアクション21　本社サテライト認証取得
2018年 12月	環境経営システムエコアクション21　全社認証取得
2020年　2月	第23回環境コミュニケーション大賞　環境レポート部門　新人賞受賞
2022年　4月	代表取締役会長に坂本信一就任、代表取締役社長に吉岡勇就任

実施体制

■環境経営システム組織図



■役割と責任と権限

役職・組織名	役割・責任・権限
代表取締役社長	1）環境経営に関する統括責任者 2）環境管理責任者、EA21事務局員の任命 3）環境経営資源の確保 4）全体評価と見直しの実施 5）環境目標及び環境計画書の承認 6）環境経営レポートの承認
環境管理責任者	1）エコアクション21活動全般の構築・運用 2）環境関連法規及び遵守性評価 3）エコアクション21の実施状況を代表者へ報告 4）環境経営レポートの確認
エコアクション21 事務局	1）環境管理責任者の補佐、委員会の活動事務局 2）環境目標、環境活動実施計画の策定 3）環境活動実績の集計 4）環境経営レポートの作成
部門責任者	1）環境目標、環境実行計画の実施責任者 2）是正及び予防と対策立案の実施責任者 3）適用される法的要求事項の遵守
エコアクション21 推進委員会	1）部門責任者の補佐 2）環境活動実施状況を把握し、部門責任者及び環境管理責任者に報告 3）従業員に対する教育の実施
内部監査チーム	1）環境に関する内部監査の計画 2）環境に関する内部監査の実施・報告
一般従業員	1）環境目標、環境活動計画の実施者 2）省エネ、分別排出等決められた事項の実施 3）適用される法的要求事項の遵守

中長期環境経営目標

項目＼年度		単位	事業所		2023年度実績 基準年度	2024年度	2025年度	2026年度
CO2 総排出量		kg-CO2	本 社		4,802	4,754 (1% DOWN)	2023年7月より、再生可能エネルギー100%電力に切り替え、ガソリンのCO2排出量のみの管理に変更	
			東日本事業所		11,758	11,641 (1% DOWN)		
			鈴鹿オフィス		393	389 (1% DOWN)		
電力	電力使用量	kwh	本 社		75,570	74,813 (1% DOWN)	2024年度実績 (1%DOWN)	2025年度実績 (1%DOWN)
			東日本事業所		196,183	194,223 (1% DOWN)	2024年度実績 (1%DOWN)	2025年度実績 (1%DOWN)
			鈴鹿オフィス		4,907	4,858 (1% DOWN)	2024年度実績 (1%DOWN)	2025年度実績 (1%DOWN)
	CO_2 排出量	kg-CO2	本 社		0	2023年7月より、再生可能エネルギー100%電力に切り替え、ＣＯ２排出実質ゼロを達成、管理対象外に変更		
			東日本事業所		0			
			鈴鹿オフィス		0			
ガソリン	ガソリン使用量	ℓ	本 社		2,070	2,049 (1% DOWN)	2024年度実績 (1%DOWN)	2025年度実績 (1%DOWN)
			東日本事業所		5,068	5,018 (1% DOWN)	2024年度実績 (1%DOWN)	2025年度実績 (1%DOWN)
			鈴鹿オフィス		169	167 (1% DOWN)	2024年度実績 (1%DOWN)	2025年度実績 (1%DOWN)
	CO2 排出量	kg-CO2	本 社		4,802	4,754 (1% DOWN)	2024年度実績 (1%DOWN)	2025年度実績 (1%DOWN)
			東日本事業所		11,758	11,641 (1% DOWN)	2024年度実績 (1%DOWN)	2025年度実績 (1%DOWN)
			鈴鹿オフィス		393	389 (1% DOWN)	2024年度実績 (1%DOWN)	2025年度実績 (1%DOWN)
廃棄物	廃棄物排出量	kg	本 社	一般	733	724 (1% DOWN)	2024年度実績 (1%DOWN)	2025年度実績 (1%DOWN)
			東日本事業所	一般	3,250	3,217 (1% DOWN)	2024年度実績 (1%DOWN)	2025年度実績 (1%DOWN)
			鈴鹿オフィス	一般	18	17.9 (1% DOWN)	2024年度実績 (1%DOWN)	2025年度実績 (1%DOWN)
水使用量	上水使用量	㎥	本 社		374	374 (2023年度実績)	2024年度実績	2025年度実績
			東日本事業所		624	624 (2023年度実績)	2024年度実績	2025年度実績
			鈴鹿オフィス		15	15 (2023年度実績)	2024年度実績	2025年度実績
社会貢献	エコキャップ運動	kg	本 社		27.7	28.0 (2023年度実績 1%UP)	2024年度実績 (1%UP)	2025年度実績 (1%UP)
			東日本事業所		85.8	86.6 (2023年度実績 1%UP)	2024年度実績 (1%UP)	2025年度実績 (1%UP)
			鈴鹿オフィス		8.0	8.1 (2023年度実績 1%UP)	2024年度実績 (1%UP)	2025年度実績 (1%UP)

＜電力＞

2023年7月より、再生可能エネルギー100%電力（レジル）に切り替え、実質CO2排出がゼロとなり、管理対象外に変更

＜ガソリン＞

2022年　調整後排出係数（環境省）→（2.32）本社・東日本事業所・鈴鹿オフィス

※化学物質の使用が無い事から、目標設定はしておりません。

環境経営活動計画

〈電力使用量の削減〉

・昼休み時間の照明の間引き消灯
・室温に対して空調の適切な温度管理
・クールビズ、ウォームビズの採用
・不在エリアの空調の電源OFF徹底
・OA機器の節電モードでの運用
・外出/帰宅時のPC電源OFF徹底

〈ガソリン使用量の削減〉

・公共交通機関の積極利用
・急発進、急加速の禁止
・出張時の社有車同乗推進
・社有車のエコカー配備の推進
・テレビ会議システム/Web会議の利用促進

〈廃棄物の削減〉

・コピー用紙の必要に応じた両面利用
・紙ごみのリサイクルを促進
・宅配弁当の利用推進
・使用済封筒の再利用

〈水使用量の削減〉

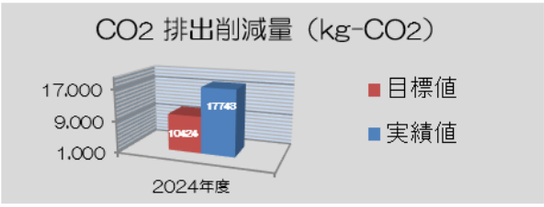
・手洗いや、洗い物において日常的な節水励行
・ウォーターサーバーの利用

〈地域との共生、社会貢献〉

・エコキャップ運動の推進
・ロードサポートの推進（近隣道路歩道部の清掃活動）
・献血運動の推進
・自販機を通してのハートフル募金（赤い羽根）の推進
・使い捨てコンタクトレンズ空ケースのリサイクル活動

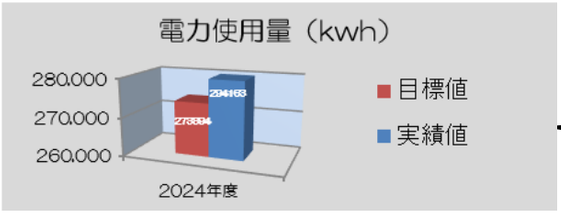
削減目標値と取り組み結果(全社)

CO2総排出量/10,424kg-CO2⇒ 17,743kg-CO2



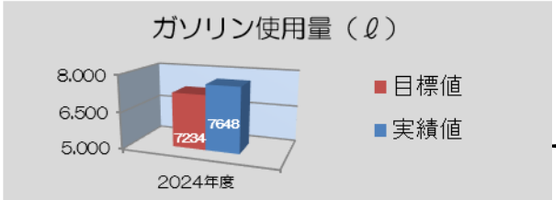
2024年度目標に対して、
70.2%UPにて未達成・・・

電力使用量/273,894kwh ⇒ 294,163kwh



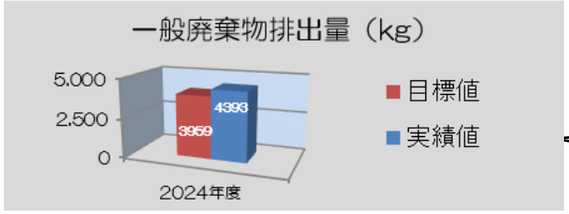
2024年度目標に対して、
7.4%UPにて未達成・・・

ガソリン使用量/7,234ℓ⇒ 7,648ℓ



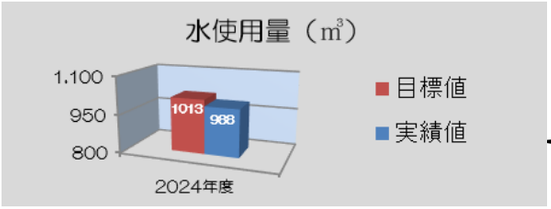
2024年度目標に対して、
5.7%UPにて未達成・・・

一般廃棄物/3,959ℓ⇒ 4,393ℓ



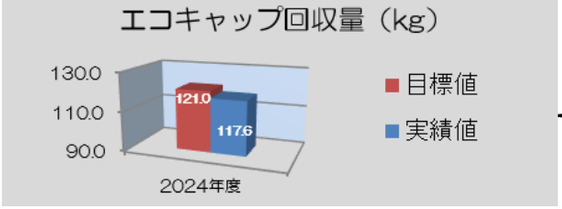
2024年度目標に対して、
11.0%UPにて未達成・・・

水使用量/1, 013㎥⇒ 988㎥



2024年度目標に対して、
2.5%DOWNで達成！

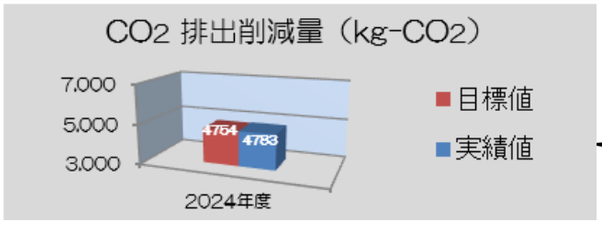
エコキャップ運動(回収量)/121.0kg⇒ 117.6kg



2024年度目標に対して、
2.8%DOWNにて未達成・・・

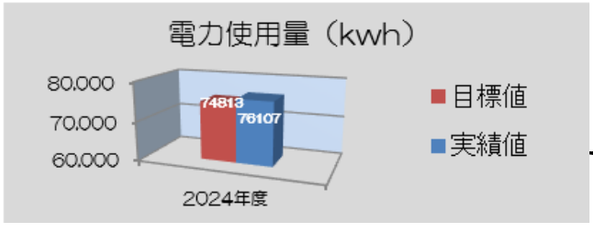
削減目標値と取り組み結果(本社)

CO2総排出量4,754kg-CO2 ⇒ 4,783kg-CO2



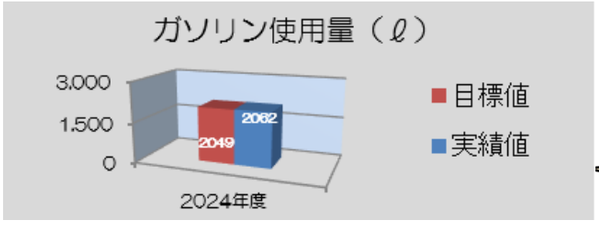
2024年度目標に対して、
0.6% UPにて未達成･･･

電力使用量/74,813kwh ⇒ 76,107kwh



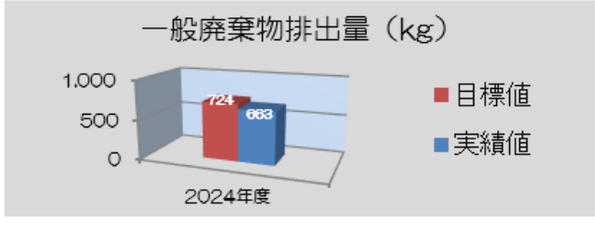
2024年度目標に対して、
1.7%UPにて未達成･･･

ガソリン使用量/2,049ℓ⇒ 2,062ℓ



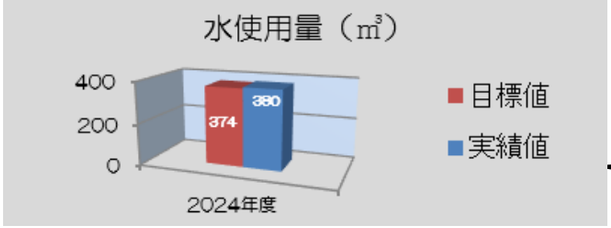
2024年度目標に対して、
0.6%UPにて未達成･･･

一般廃棄物排出量/724kg⇒ 663kg



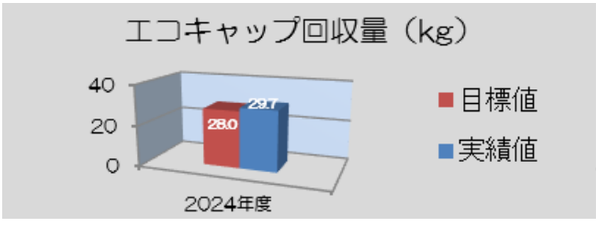
2024年度目標に対して、
8.0%DOWNで達成！

水使用量/374㎥⇒380㎥



2024年度目標に対して、
1.6%UPで未達成！

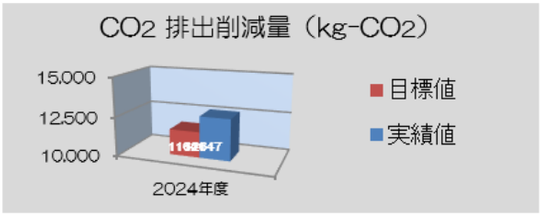
エコキャップ運動(回収量)/28.0kg⇒ 29.7kg



2024年度目標に対して、
6.1%UPにて達成!

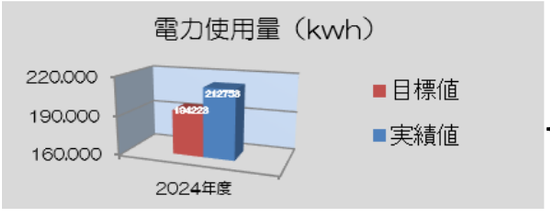
削減目標値と取り組み結果(東日本事業所)

CO2総排出量/11,641kg-CO2 ⇒ 12,647kg-CO2



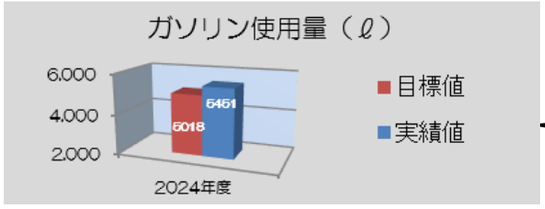
2024年度目標に対して、
8.6% UPにて未達成・・・

電力使用量/194,223kwh ⇒ 212,753kwh



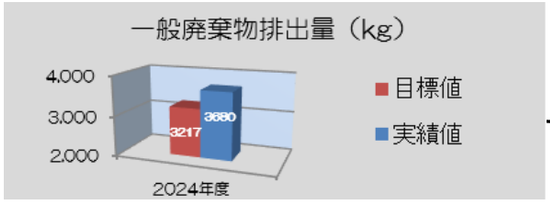
2024年度目標に対して、
9.5%UPにて未達成・・・

ガソリン使用量/5,018ℓ⇒ 5,451ℓ



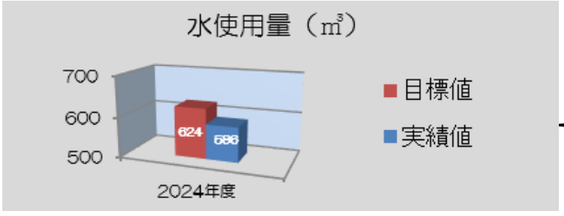
2024年度目標に対して、
8.6%UPにて未達成・・・

一般廃棄物排出量/3,217kg⇒ 3,680kg



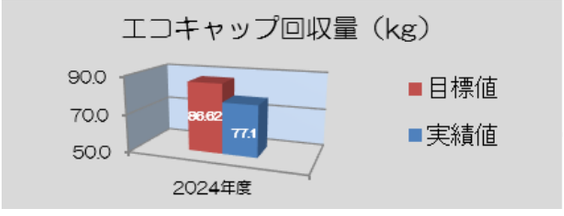
2024年度目標に対して、
14.4%UPにて未達成・・・

水使用量/624㎥⇒ 586㎥



2024年度目標に対して、
6.0%DOWNで達成！

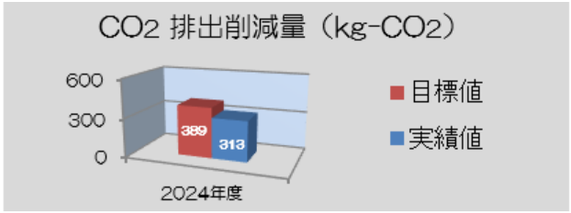
エコキャップ運動(回収量)/86.6kg⇒ 77.1kg



2024年度目標に対して、
11.0%DOWNにて未達成・・・

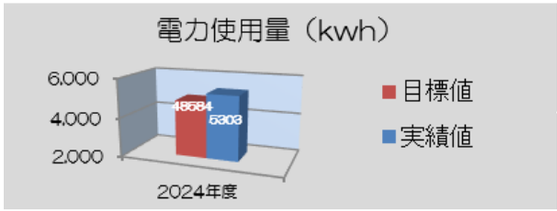
削減目標値と取り組み結果(鈴鹿オフィス)

CO2総排出量/389kg-CO2 ⇒ 313kg-CO2



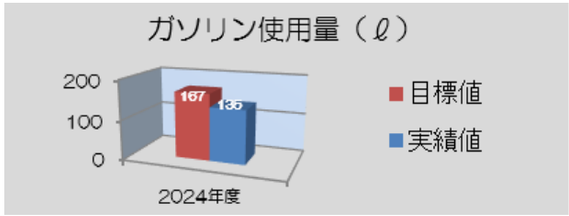
2024年度目標に対して、
19.6% DOWNで達成！

電力使用量/4,858kwh ⇒ 5,303kwh



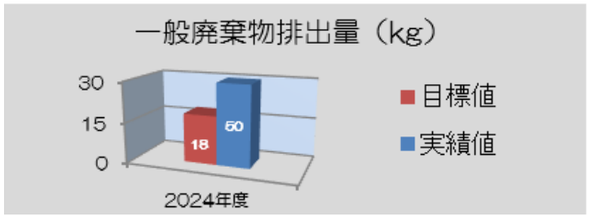
2024年度目標に対して、
9.2%UPにて未達成･･･

ガソリン使用量/167ℓ ⇒ 135ℓ



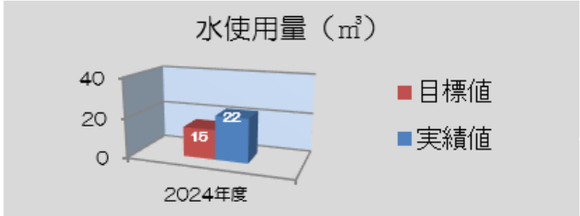
2024年度目標に対して、
19.2%DOWNで達成！

一般廃棄物排出量/18kg⇒ 50kg



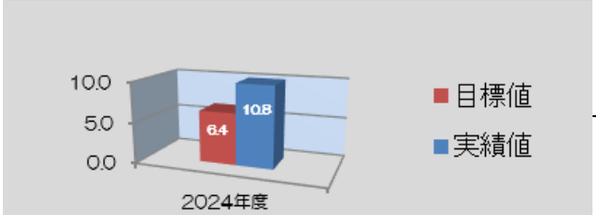
2024年度目標に対して、
278.2%UPにて未達成･･･

水使用量/15㎥⇒ 22㎥



2024年度目標に対して、
146.7%UPにて未達成･･･

エコキャップ運動(回収量)/8.1kg⇒ 10.8kg



2024年度目標に対して、
133.3%UPで達成！

環境への負荷状況(取りまとめ)

【２０２４年度】

項目		単位	本社			東日本事業所			鈴鹿オフィス			全社		
			計画値	活動実績	達成状況	計画値	活動実績	達成状況	計画値	活動実績	達成状況	計画値	活動実績	達成状況
CO2 総排出量		kg-CO2	4,754	4,782	△	11,641	12,647	△	389	313	◎	92,750	92,530	○
電力	電力使用量	kwh	74,813	76,107	△	194,223	212,753	△	4,858	5,303	△	269,731	276,660	△
ガソリン	ガソリン使用量	ℓ	2,049	2,061	△	5,018	5,451	△	168	135	◎	8,201	7,307	◎
	CO2 総排出量	kg-CO2	4,754	4,782		11,641	12,647		389	313		19,026	16,952	
廃棄物	一般廃棄物排出量	kg	724	663	○	3,217	3,680	×	18	50	×	3,660	4,001	×
水使用量	上水使用量	㎥	374	380	△	624	586	○	15	22	×	922	1,013	×
社会貢献	エコキャップ運動	kg	28.0	29.7	○	86.6	77.1	×	6.4	10.8	◎	105.3	121.5	◎

＊取組評価

◎⇒達成(−10%以上)

○⇒達成(−10%未満〜0%)

△⇒未達成(0%〜+10%未満)

×⇒未達成(+10%以上)

※化学物質の使用が無い事から、目標設定はしておりません。

次年度の取り組み（環境経営目標値及び取組計画）

項目 ＼ 年度			単位	事業所		2023年度 基準年度	2024年度
電力	数値目標	電力使用量	kwh	本社		75,570	74,813 （1% DOWN）
				東日本事業所		196,183	194,223 （1% DOWN）
				鈴鹿オフィス		4,907	4,858 （1% DOWN）
	取組計画	・昼休み時間の照明の間引き消灯 ・不在エリアの空調と照明の停止 ・外出/帰宅時のＰＣ電源ＯＦＦの徹底 ・室温に対して空調の適切な温度管理 ・ＯＡ機器の節電モードでの運用					
ガソリン	数値目標	ガソリン使用量	ℓ	本社		2,070	2,049 （1% DOWN）
				東日本事業所		5,068	5,018 （1% DOWN）
				鈴鹿オフィス		169	167 （1% DOWN）
	取組計画	・公共交通機関の積極利用 ・出張時の社有車同乗推進 ・テレビ会議システムの有効活用 ・急発進・急加速の禁止 ・社有車のエコカー配備の推進 ・プラグインハイブリッド/ＥＶ車の積極利用					
廃棄物	数値目標	廃棄物排出量	kg	本社	一般	733	724 （1% DOWN）
				東日本事業所	一般	3,250	3,217 （1% DOWN）
				鈴鹿オフィス	一般	18	17.9 （1% DOWN）
	取組計画	・宅配弁当の利用促進 ・使用済み封筒の再利用 ・ウォーターサーバーの利用 ・コピー用紙の必要に応じた両面利用 ・ペーパーリサイクルＢＯＸの利用					
水使用量	数値目標	上水使用量	m^3	本社		374	374 （2023年度実績維持）
				東日本事業所		624	624 （2023年度実績維持）
				鈴鹿オフィス		15	15 （2023年度実績維持）
	取組計画	・手洗いや、洗い物において日常的な節水励行					
社会貢献	数値目標	エコキャップ運動	kg	本社		27.7	28.0 （1% UP）
				東日本事業所		85.8	86.6 （1% UP）
				鈴鹿オフィス		8.0	8.1 （1% UP）
	取組計画	・エコキャップ回収ＢＯＸを社内に設置 ・社内や自宅で発生したＰＥＴ飲料キャップの回収					

※化学物質の使用が無い事から、目標設定はしておりません。

環境関連法規等の遵守状況

法規名		遵守事項（規制内容）	適用条項	実施状況	判 定
廃物処理法	一廃	可燃ごみは一廃業者と契約しているか	6条の二	許可業者の(株)勤労衛生と契約している	Ok
	契約書	最終処分場が明記されているか	12条	最終処分場の確認	Ok
		契約書の期限は過ぎていないか	〃	自動延長での更新	Ok
		５年間保管しているか	〃	保管されているかの確認	Ok
		許可品目と委託廃棄物とが合致するか	〃	一般可燃物/一般不燃物の確認	Ok
	保管場所	種類/管理者/保管量の表示があるか	12条	掲示板60cm×60cmの設置	Ok
		適切な場所に保管しているか	〃	専用のごみ収容所への保管	Ok
		飛散/流出防止対策をとっているか	〃	屋根/へい/仕切りがあり、流失なし	Ok
	ﾏﾆﾌｪｽﾄ	A票照合確認欄への日付記入管理を行っているか	12条の三	マニフェストの照合確認欄の確認	Ok
フロン排出抑制法		簡易点検を適切に行い、設備(空調)の維持管理に努めているか	16条	3ヶ月に一度の簡易点検を実施し、簡易点検管理表の確認	Ok
家電リサイクル法		該当する家電は、適切に引き取ってもらっているか	6条	リサイクル券の確認	Ok
オゾン層保護法		排出の規制及び使用の合理化に関する措置等を講じているか	１条	フロンガス排出抑制法の遵守確認	Ok

※環境法規等の遵守活動を行い、違反や訴訟も発生しておりません。

SDGs取り組み紹介①

■『とちぎSDGs推進企業』、『埼玉県SDGsパートナー』への登録

山王テック株式会社は、地球環境の保全を経営課題と位置付け、豊かな未来づくりへの貢献を事業活動ならびに従業員の行動を通じて取り組んで参りました。
昨今、気候変動による様々な自然災害、人権問題、そして感染症拡大など、企業を取り巻く環境は大きく変わり、”企業の社会的責任”が益々求められています。
山王テック株式会社はSDGs(持続可能な開発目標)の「環境」「社会」「経済」の3側面それぞれに具体的に達成すべき目標を設定し、2022年度に『とちぎSDGs推進企業』、『埼玉県SDGsパートナー』へ登録しました。
未来志向型企業として、人や環境に配慮した持続可能な社会づくりに貢献して参ります。

SDGs TOCHIGI
とちぎSDGs推進企業 登録マーク

2022年7月15日登録

埼 玉 県
ONE TEAM SAITAMA
SDGsパートナー

2022年11月30日登録

■3側面の重点取組と指標(登録申請内容)

	三側面	SDGs達成に向けた重点取組	指標
本社(埼玉)	環境	一般廃棄物の排出量の削減及び社有車の環境配慮型車両への移行によって、自社排出CO2削減を推進 <2021年度の数値> ①一般廃棄物排出量:884kg/年 ②ガソリン使用量:5,326ℓ/年(2019年実績) ③環境配慮型車両導入率:38%(3台/8台)	<2030年に向けた指標> ①2021年比 8.0%削減 ②0ℓ/年 ③100% <取組開始3年後に向けた指標> ①2021年比 4.0%削減 ②3,000ℓ/年 ③63%
	社会	社員参加型社会貢献活動の推進 「彩の国ロードサポート制度」に登録し、地域の環境美化を推進 <2021年度の数値> 環境美化活動実施回数:0回 延べ0名参加	<2030年に向けた指標> 12回/年 延べ150名参加 <取組開始3年後に向けた指標> 15回/年 延べ120名参加
	経済	働きがいと経済成長の両立を図るため、従業員の有給休暇取得を推進する。 <2021年度の数値> ①埼玉県「多様な働き方実践企業認定制度」:未登録 ②有給休暇平均取得日数:11.6日/年	<2030年に向けた指標> ①『プラチナ認定』登録②平均取得日15日 平均取得率50% <取組開始3年後に向けた指標> ①『ゴールド認定』登録②平均取得日数:13日/年

	三側面	SDGs達成に向けた重点取組	2030年に向けた指標
東日本事業所(栃木)	環境 社会 経済	自社排出CO2削減の推進	■再生可能エネルギー電力導入 ＊2022年30%⇒2030年100% 再生可能エネルギー導入100%、環境車両比率100% ■環境車両(EV/HYBRID)比率 ＊2022年52.6%⇒2030年100%
	環境 社会 経済	ペーパーレス化の推進	■申請書類及び通知、会議資料、社内書類 ＊2030年100%
	環境 社会 経済	ダイバーシティ経営の推進	■障害者雇用社員の技術分野への転換 ＊2022年35%⇒2030年40%

SDGs取り組み紹介②

■対象ゴールと取り組み施策

対象ゴール	取組施策	対象ゴール	取組施策
3 すべての人に健康と福祉を	＜健康と福祉＞ ・エコキャップの寄付(ワクチン寄付/障害者支援) ・献血活動 ・自販機を通してのハートフル福祉募金への協賛 ・感染症対策に伴う機器の設置と運用 ・全従業員(パート含む)の健診実施	4 質の高い教育をみんなに	＜環境経営レポートの公表＞ ・ホームページ/イントラ/EA21中央事務局 ＜教育訓練の実施＞ ・業務専門教育 ・階層別/役職別研修の実施 ・情報セキュリティ/環境教育講習の実施
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさも守ろう	＜環境関連法規の遵守＞ ・該当法規の遵守 ＜電力・ガソリン使用量の削減＞ ・再生可能エネルギー100%電力の導入 ・社有車のエコカー(HEV/PHEV/EV)配備の推進 ・拠点間移動の削減にオンライン会議の有効利用 ・OA機器の節電モードでの運用 ・エコドライブの励行 温湿度計の設置による適切な室温管理 ・不在エリアの空調及び照明の電源OFF ・照明の間引き消灯 ＜廃棄物の削減/リサイクル＞ ・給与明細の電子配信等、デジタルソリューションの活用に依る、紙出力の削減 ・ペーパーリサイクルBOXの利用 ・宅配弁当の利用促進(回収容器利用に依る、ゴミ削減) ・コピー用紙の必要に応じた両面利用	5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も	＜女性の雇用促進＞ ・産休/育休/時短制度100%承認、職場復帰をサポート ・女性活躍推進法に基づく行動計画の策定・情報公開 ＜働きがいと経済成長＞ ・働き方改革の推進(リモートワーク導入) ・定年後の再雇用100%(希望者に対して) ・障がい者の雇用促進 ・同一労働同一賃金ガイドラインに沿った整備促進
		17 パートナーシップで目標を達成しよう	＜地域/環境活動への輪を広げる＞ ・彩の国ロードサポートに登録【本社】 ＊周辺道路歩道部の清掃活動 ・芳賀町工業団地連絡協議会活動の推進【東日本事業所】 ＊周辺道路歩道部の清掃活動、交通安全立哨の実施 ・使い捨てコンタクト空ケース回収リサイクル活動 ＊コンタクトのアイシティの活動に協賛
		6 安全な水とトイレを世界中に	＜水使用量の削減＞ ・手洗いや洗い物において日常的な節水励行 ・節水危惧の設置

環境への取り組み

・廃棄物は、廃棄物処理法及び、行政ガイドラインに基づき、産廃業者を通じて適正処理を実施しています。
・照明のLED化を促進しています。
・デジタルソリューション活用(給与明細電子配信等)によるペーパーレス、業務効率向上を図っています。
・拠点間移動の削減にオンライン会議システムを有効活用しています。
・不在エリアの空調及び照明電源OFF、温湿度計の設置による適切な室温管理を行っています。
・埼玉県「彩の国ロードサポート」団体に認定、道路環境作りの清掃活動を実施しています。
・社有車の低公害車(HEV/PH-EV/EV)導入と充電器の設置を促進しています。
・コンタクト販売会社主催の使い捨てコンタクト空ケースのリサイクル活動に協賛し、活動を行っています。

EV用充電器

Honda e

歩道部の清掃活動

SDGs取り組み紹介③

健康・安全への取り組み

・従業員の感染症対策に有効な機器、機材を設置する等、従業員の感染抑止を図っている。
・ペットボトルキャップの寄付（ワクチン寄付）、献血運動、自販機を通じてのハートフル福祉募金の協賛等、社会福祉に役立てる活動を推進している。
・AEDを必要とする緊急事態が発生の際、近隣に速やかに貸し出しが出来る様、玄関先に設置している。毎年、取扱い講習を実施している。
・交通安全委員会の活動として、交通違反・事故の未然防止に役立つ情報の提供や定期的に地域と連携した、交通安全立哨を実施する等、交通ルール遵守と交通安全意識向上に取り組んでいる。
・飲酒運転撲滅を推進する為、アルコールチェッカーによる運行前点検を実施している。
・従業員への受動喫煙防止を図る為、敷地内完全禁煙化を実施している。

【献血活動】

【AED設置】

【感染症対策】

●CO2濃度測定器の設置
「各執務室等に設置し、1,000ppm以上になった場合に換気を行います」

●UVストリーマ空気清浄機の設置
「各執務室等に設置し、終日稼働させています」

SDGs取り組み紹介④

水使用量の削減

・節水器具の取り付け可能な蛇口への装着及び、節水タイプの蛇口を設置している。
・手洗いや、洗い物において、日常的な節水励行を行っている。

働きがいと経済成長

・障がいを持たれた社員のサポートを通じ、働きやすい環境づくりに取り組んでいる。
・女性活躍推進法に基づき、行動計画の策定・情報公表を行っている。
・産前産後の休暇・育児休暇・時間短縮勤務の100%承認を図る等、職場復帰へのサポートをしている。
・同一労働同一賃金ガイドラインに沿った社内体制の整備・対応を推移している。

人財育成

・階層別、役職別研修の実施を通じ、従業員のポテンシャルを高める取り組みを行っている。
・情報セキュリティ及び、環境教育の機会を定期的に設け、実施している。

【環境教育の実施】

環境対応情報や災害事例、SDGs等を独自に作成した資料を基に社内教育を実施しております。

SDGs取り組み紹介⑤

【消防訓練】

当社の業務は、パソコンを使用したオフィスワークが中心の為、”緊急事態の訓練”として、
オフィス火災を想定した消防訓練を実施しております。

《消火訓練》

《避難訓練》

《放水訓練》

《通報訓練》

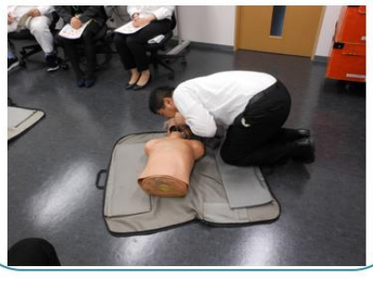
《避難器具組立訓練》

【AED取扱い講習】

当社は、社会的責任の一環として、AEDを設置しており、毎年取扱い講習の受講を推進して
おります。

胸骨圧迫実習

人工呼吸の実習



AEDの使い方実習

環境活動キャンペーン(44期)

■エコキャップ回収強化月間

2024年8月1日～9月30日の2ヶ月間をエコキャップ回収強化月間と定め、従業員の方に自宅で収集したキャップを持参頂くことで、年間回収目標を達成致しました。
当該キャンペーンは3回目の実施となり、年々、回収量が増加と従業員の自宅でのエコキャップ回収の定着が伺え、今後もキャンペーン運動の継続を図り、ワクチン寄付に繋げて参ります。

【本社】

【東日本事業所】

【鈴鹿オフィス】

■環境標語/アイデア募集キャンペーンの展開

◆埼玉地区従業員対象に『環境標語』を、栃木/鈴鹿地区従業員を対象に『エコアイデア』を募るキャンペーンを下記の通り展開しました。
＊募集期間:(埼玉)2024年12月10～24日 (栃木/鈴鹿)2024年11月25日～12月20日
＊応募結果:(埼玉)121名の方より224件　(栃木/鈴鹿)37名の方より40案

環境標語優秀作品選出の結果<44期>

日々の業務お疲れ様です。

今回募りました、環境標語募集に121名の方より、224件の標語を応募頂くことが出来ました。
日頃の環境活動へのご理解、ご協力に重ねて委員一同、御礼申し上げます。
協議の結果、受賞作品を下記に決定、副賞として、Quoカード3,000円を贈呈致します。

～環境標語優秀作品～

リサイクル　未来を守る　希望の輪
菅谷　竹
<技術支援2部支援4課生産支援1Gr.>

見直そう　無駄な電力　スイッチOFF
伊藤　勲
<技術支援2部支援4課生産支援1Gr.>

「もったいない」地球を守る　合言葉
金子　雄一
<技術支援2部支援3課サービス2Gr.>

分別は　無料でできる　自然保護
小山　雄央
<技術支援2部支援4課開発管理1Gr.>

ごみ拾う　子の目に映る　大人の背
松葉　勲
<技術支援2部支援4課生産支援1Gr.>

エコアクション　小さな努力の積み重ね
小角　浩司
<サービス技術部技術資料3課EWD・用品Gr.>

不要と思うその瞬間　少し考え　リサイクル
岩城　昭彦
<技術支援2部支援3課サービス2Gr.>

ゴミ分別　心がけ一つで　環境保全
土田　典子
<技術支援2部支援4課開発管理1Gr.>

限りある　資源を守り　次世代へ
石田　昌章
<サービス技術部技術資料1課工貫Gr.>

ONとOFF　うまく切り替え　節電を
鍋谷　祐一
<サービス技術部技術資料3課EWD・用品Gr.>

エコ資源　出さない　捨てない　ゴミ減量
小池　誠治
<サービス技術部技術資料1課工貫Gr.>

捨てるより　活かすことが　エコ活動
伊賀　幸一
<サービス技術部技術資料1課2汎資料Gr.>

＊選出標語は、今後の委員会活動ＰＲに活用させて頂きます。
エコアクション21推進委員会

山王テック 44期　エコアイデアの募集結果

日々の業務お疲れ様です。

今回募りました、エコアイデア募集に37名の方より40案の提案を頂くことが出来ました。
日頃の環境活動へのご理解、ご協力に重ねて御礼申し上げます。
昨年に引き続き、キャンペーンを推進したことは、意義が有ったと委員一同、感謝しております。
栃木/鈴鹿地区委員間の協議の上、下記の通り、受賞を決定致しました。
副賞として、Quoカード3,000円を贈呈致します。

《アイデア賞》
※ユニークな着想を重視して選定。

●野澤優(開発1部開発1課)【電力使用量削減】
◆会議室の利用に優先度を設定する。
・優先度:高の会議室…空き時間を減らすことでエアコンON/OFF(室内の冷加熱)が減る。
・優先度:低の会議室…エアコン自体の使用が減る。
・全体:総エアコンの使用時間は変わらずも、電力負荷の高い加熱中時間の削減に結び付く。

●黒後剛史(開発1部開発1課)【ガソリン使用量削減】
◆事業所に電動アシスト付きのシェアサイクルの設置、社有車の代わりに活用。
・社有車の代わりに利用を促進し、ガソリン使用量削減に繋げる。

●尼子彩織(技術支援1部クリエイション課)【廃棄物量削減】
◆①ゴミ袋削減
・発端として、ゴミ袋のゴミが寡黙り、本来入る体積を満たす前に捨ててしまうことがある。
ゴミを小さくする心掛けを各人が持ち、お菓子のプラゴミ等の畳み方をゴミ箱周辺に掲示、併せてゴミ箱投入口を小さくして、畳んで捨てる意識付けと習慣化を推進する。

◆②ペットボトル削減
・ペットボトル(プラゴミ)が多く、水等、身近で調達できる飲み物を好む方には、マイボトル(タンブラー/水筒等)を持って来るように呼び掛けの推進とタンブラーの配布が効果的と思います。
水筒は洗浄が面倒ではあるが、『ペットボトル洗いビーンズ』という商品をあるので配布することで洗うことへの抵抗感がなくなる効果が期待され、ペットボトル自販機の隣にティーパックやコーヒーパック等の抽出系品目の自販機を設置し、マイボトルの使用を促すのも効果的と考えます。

《優秀賞》
※実現性を重視して選定。

●草場雅彦(企画管理部)【ガソリン使用量削減】
◆冬季限定措置として、社有車を降当たりの良い駐車位置に変更を図る。
・社有車(EV除く)を敷地南側駐車場に移動保管(軽自動車、本社出張者近辺)することで、お天道様のありがたいエネルギーをもらいましょう！
➡ガラス凍結防止だけを考えれば、ピロティ内に駐車することが望ましいが、車内室温を上げる効果が期待でき、冬季限定の手段として有効と判定。

山王テック株式会社
エコアクション21推進委員会

新規環境活動

■使い捨てコンタクト空ケース回収によるリサイクル活動に協賛しました！

コンタクトレンズ販売の『アイシティ』は、使い捨てコンタクトレンズ空ケースのリサイクル活動を各販売店が回収窓口となり、全国規模にて展開しております。

当社の拠点周辺に回収窓口の販売店が設置されている利便性、SDGsゴール17（パートナーシップで目標を達成しよう）に繋がる活動として「エコアクション21推進委員会」にて協議の上、2024年11月より、開始致しました。

使い捨てコンタクト愛用者に限定されることから、回収BOXが一杯になるのは先になりますが、環境保全・障がい者の就労支援に繋がる様、活動を展開して参ります。

瞳のため、地球のため。
アイシティ eco プロジェクト

社会貢献 01

空ケースの再資源化による環境保全

ゴミとして燃やしてしまうのではなく、リサイクルを行うことでCO_2排出量を削減します。再資源化された材料は、様々な製品に生まれ変わります。

使い捨てコンタクトレンズ空ケース → リサイクル工場で粉々に粉砕されます → 加工され、再生ポリプロピレン素材へと変身します → 様々なリサイクル品に生まれ変わります

社会貢献 02

障がい者の自立・就労支援

アイシティの障がい者部門「市川チャレンジオフィス」では店舗や眼科で回収された空ケースのアルミシールをはがすなど、リサイクルの支援業務を行っています。また、就労の支援として全国の社会福祉施設で作られた手作り小物を年間23万個買い取り、ご協力いただいたお客様へ、お礼としてアイシティ店舗にてプレゼントしています。

▶市川チャレンジオフィスの作業風景

◀手作り小物

社会貢献 03

公益財団法人 日本アイバンク協会への寄付

空ケースをリサイクル業者に買い取っていただいた対価を全額公益財団法人日本アイバンク協会に寄付しています。アイバンクは角膜の病気による視力障害の方の視力回復のために、全国54のアイバンクと連携し角膜移植を待つ方とドナーの架け橋の役目を果たしています。

eye EYE BANK

公益財団法人 日本アイバンク協会ホームページ

トピックス

■令和６年度栃木県地方創生応援税制（企業版ふるさと納税”日光杉並木街道保護事業”）への寄付を通じた、社会貢献活動に参画しました！

”日光杉並木街道”は、全長約37kmにおよぶ世界一長い並木街道と言われ、約12000本の杉の木がそびえ立つ緑のカーテンを後世に遺す活動を山王テックは応援しています。

栃木県

日光杉並木街道植樹400年プロジェクト

世界に誇る日光杉並木を守ります！

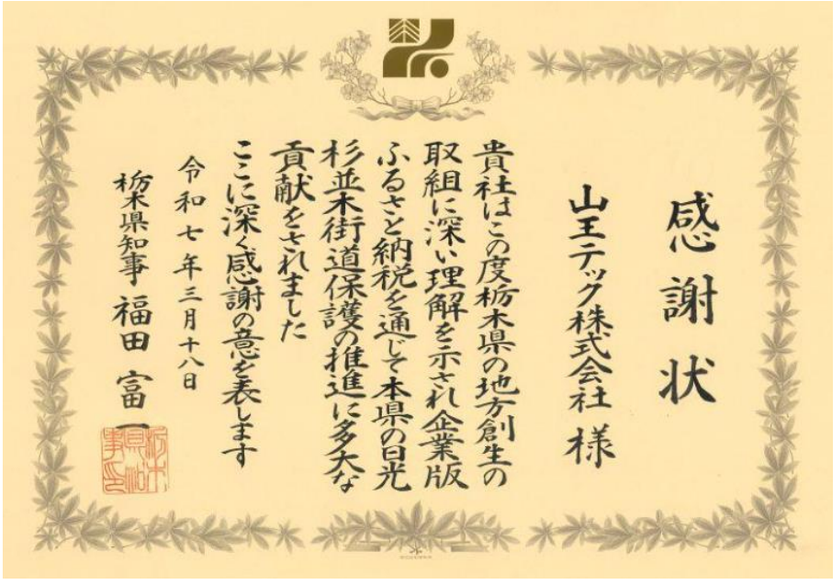
日光杉並木植樹 400年 栃木県 Since 1625 ››› 2025

11 住み続けられるまちづくりを

15 陸の豊かさも守ろう

オーナーズプレート→

山王テック吉岡社長と栃木県福田知事



感謝状

山王テック株式会社 様

貴社はこの度栃木県の地方創生の取組に深い理解を示され企業版ふるさと納税を通じて本県の日光杉並木街道保護の推進に多大な貢献をされましたここに深く感謝の意を表します

令和七年三月十八日

栃木県知事 福田 富一

代表者による全体評価と見直し･指示

２０２４年度は、エネルギー価格の高止まりと物価の高騰、不安定な国際情勢による地政学リスクに加えて、急速な為替相場の変動と先行きが不透明ながらも、山王テックは、４４期事業計画を確実に達成し、実りの多い一年とすることができました。

環境活動としては、事業活動の活発化に比例して、拠点間の往来や顧客訪問の機会が増加し、Ｗｅｂ会議システム活用の促進、長距離移動時には、プラグインハイブリッド車を優先利用する配車の徹底を図りましたが、本社/東日本事業所にて、ガソリン使用量が計画値を超過するに至りました。

また、本社建屋にて雨漏りが発生し、事象の確認の為、大量の水を放水しての雨漏り箇所を特定する作業に時間を要したことから、本社の上水使用量も目標値を超過する結果となりました。

前年度に比べて目標値の達成状況は、厳しい結果となりましたが、事業活動の高まりと環境活動は相反する内容が多く、バランスを取りながら最適化が図れるような活動を推進して参ります。

『エコアクション２１推進委員会』の取組みとして、年２回の環境キャンペーンの推進（エコキャップ運動、環境アイデア／標語の募集）、環境教育及び啓蒙活動、近隣道路歩道部の清掃活動など、当社のＳＤＧｓ推進の起点となる展開が図られてきました。

４４期からは、コンタクトレンズ販売店のアイシティが展開している「使い捨てコンタクトレンズ空ケースのリサイクル」に協賛し、活動の輪を広げました。

また、経営よりの新たな取組みとして、令和６年度栃木県地方創生応援税制（企業版ふるさと納税“日光杉並木街道保護事業”）への寄付を通じた、社会貢献活動への参画を図りました。

これからもより一層、経営と従業員が一体感を持って、環境経営を促進して参ります。

代表取締役社長　吉岡　勇

見直し項目		変更の必要性	『有』の場合の指示事項等
1	環境経営方針	□ 有　☑ 無	
2	環境経営目標・計画	□ 有　☑ 無	
3	実施体制	□ 有　☑ 無	